

◎スリット窓で
自然光を採り込む

表紙事例のI様邸では、1階の間取り変更によって玄関を北側に移動しました。たっぷりと採光＆通風できるように、玄関ドア(1)はガラス入りとし、脇には縦長のスリット窓(2)も設置。隣接するキッチンとの間仕切り壁やリビング扉も一部をガラス(3,4)で仕上げて、玄関に採り込んだ光をさらに室内まで導けるようにしています。壁面いっぱいに設けたシュークローゼットは上吊り式の折れ戸で、床面にレールが無くタタキが収納内部まで連続しているので、はき掃除や物の出し入れが楽々です。



1.玄関ドア脇に設けた縦長スリット窓(2)は、下をガラスブロック、上は風を採り込める小窓(収納可能なロール式戸付き)とした。右手に見えるのがキッチンとの間仕切り壁に設けた横長スリット窓(3)。
2.玄関からキッチンおよびLD方向を見る。スリット窓(3,4)は、室内と玄関をつなぐコミュニケーション窓としても機能している。

I様邸 東京都国分寺市
工事金額：中面参照
2×4工法2階建て 築17年
ホームイング国立店
担当：小竹賢司・原あかね・皆川昌弘

◎造作家具で魅せるマンション玄関

既存の玄関はタタキが広いわりに収納が少なく、廊下も動線としてしか使われていませんでした。そこでタタキは縮小して両サイドに廊下まで続く壁面収納を作りました。靴や傘はもちろん、ゲストのコートを掛けるスペースや郵便受けボックスも組み込んで、玄関はいつもスッキリ。カウンター奥にスリットを設けて埋め込んだ照明(1)が、床と天井を照らして狭いスペースに広がり感を与えています。



1.玄関および廊下に設けた壁面収納は、オリーブの木目が美しい面材を全面に使用。奥行きは35cmでマンション特有の梁型を巧みに隠している。縮小した玄関タタキは、共用廊下から連続する既存タイルを流用。
2.カウンターの壁際にスリットを設けてライン照明を埋め込んだ。カウンタータイプは棚板のない、傘やブーツを収納するオープンな収納なので、床面にも光が落ちるようになっている。

S様邸 東京都小金井市
工事金額：145万円(玄関タタキ縮小・収納家具製作・照明設置)
RC造マンション 築27年
ホームイング国立店
担当：吉田英樹・皆川昌弘

*価格は資材・施工費、諸経費含む

住宅版エコポイント制度がスタート!

(2010.1.18国土交通省発表資料をもとに作成)

2010年1月1日～12月31日に工事着手されたエコリフォーム(右記対象となる工事)に対して、国からポイントが発行されます。発行されたエコポイントは、商品券やプリペイドカード、地域产品などに交換できるほか、当該リフォーム工事の費用にも充当できる予定です。

エコポイントの申請期限、一部発行対象外となる工事もありますので、詳細は国土交通省のホームページ、または、お近くのミサワホームへお問い合わせください。

増改
築
不動
産

お気軽にお問い合わせ下さい。
この地域の担当は

テラスは晴れの日のリビング

Making the Terrace as a Living Room on Sunny Day



室内床と段差なくつなげれば、テラスはもうひとつ別のリビング



I様邸—東京都国分寺市

工事価格：1,470万円（外構およびサニタリーを含む1階改修工事／床暖房およびエコキュート設置を含む資材・施工費）
2×4工法2階建て 築17年
家族構成：夫婦十子供十母

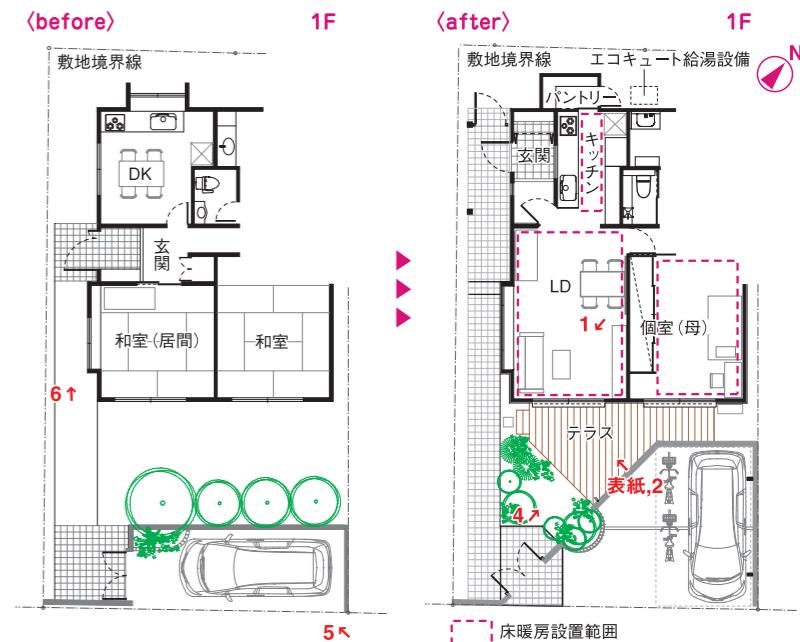
*裏面にて、玄関まわりのリフォームについてご紹介しています。

住まいの全面改修で、アプローチを含むエクステリアもリフォームしました。かつての庭ほど土の面積は要らず、代わりにテラスやパーキングスペースを充実させたいという要望でした。そのための工夫が、駐車場とテラスを斜めに仕切る壁です。駐車の向きが変わったので車の出し入れがしやすくなり、同時にテラスの幅を広くとることができました。またこの堀は間の一部を抜いて植栽を施しているので、威圧的になりません。テラスはイペ材を張ったウッドデッキで、室内と床の高さを揃えることで、一続きのリビングのように使うことができます。

ホームイング国立店
営業：小竹賢司／設計：原あかね／施工管理：皆川昌弘

- リビングからテラスを見る。
- 隣の母の部屋とリビングをつなげるウッドデッキのテラス。晴れた日は掃き出し窓を開けると、このテラスももうひとつのリビングとして過ごせる場所になる。
- 外観
- イペ材のウッドデッキは斜めの堀によって切り取られた変形の平面形状をしている。ねじれ曲がりながら伸び上がるザクロの樹は以前からあったものを残したシンボルツリー。その他にもハナミズキなど既存の樹木を移植しつつ、ヤマボウシを新たに植えている。
- 改修前の駐車場
- 改修前の玄関アプローチ

表紙撮影：佐藤周哉



堀はコンクリートブロック積みにモルタル塗装仕上げ。門扉はアルミ製。アプローチ部分は200角タイル張り。元玄関はもっと手前の建物真ん中あたりにあり、リビングとキッチンを分断していた。この玄関を建物の奥へ移動することで、LDKの大きなスペースを確保することができた。元の駐車場は縦列駐車方向に土間コンクリートが打設されていたが、これは補修活用している。

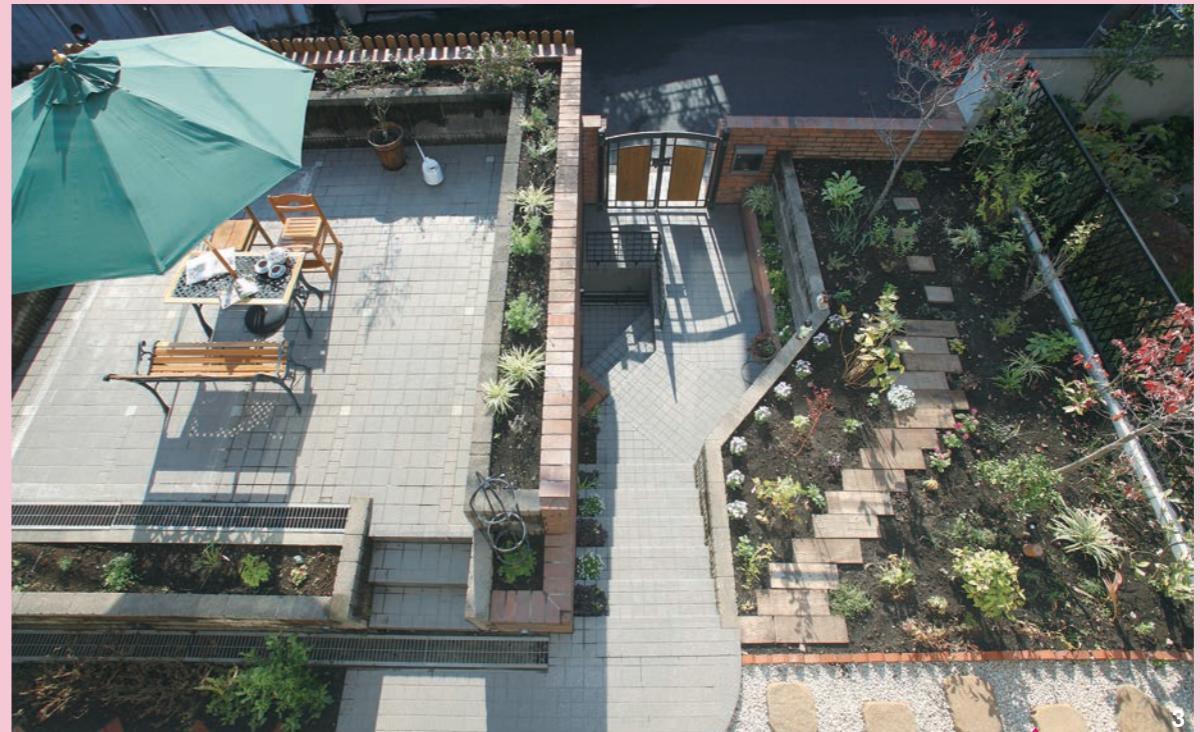


O様邸—東京都多摩市

工事価格：210万円
(外構改修および造園工事／資材・施工費)
在来木造 築15年
家族構成：夫婦十子供2人

ルーフテラス付きのガレージと広いお庭のある中古住宅を購入されたO様。古い煉瓦張りのガレージはシャッター付きで、一部コンクリートが剥き出しへなっていて暗い印象を与えていました。そこでシャッターを撤去してオープンにし、外壁を国産杉のフェンスで包み込みました。テーブルと椅子を置いたルーフテラスの目隠しにもなり、ゆったりとティータイムやランチを楽しめます。テラスより少し低い位置にある土のある庭には、敷地内や以前のお住まいにあった樹木をバランス良く配置し直し、中央には枕木を並べた小道をつくりました。ガーデニングがご趣味の奥様は、これからじっくりとお庭をつくりこんでゆくを楽しみにされています。

ホームイング桜ヶ丘店
営業設計：山口 恵・磯谷元雄
施工管理：小美野賢二



- 国産杉材のフェンスを外壁にめぐらせたガレージ外観。特殊高温加压処理されているため無塗装で使えるエクステリア用木材（エスティックウッド）で、耐久性が高く、カビが発生しにくい。ガレージ内のチェーンポールや張り替えた門扉の面材にも使用し、既存のものと新しいものを馴染ませた。
- 2階のベランダからガレージ上部のテラスと庭を眺める。テラスは1階リビングの前に位置し、タイル張りの床は既存のまま。周囲の花壇にはランタナやアイビーなどを植えている。庭の樹木はハナミズキやアジサイ、アオキなど。スポットライトを設置し、夜になるとライトアップされる。
- before

ガレージ上部に浮かぶ、国産杉×煉瓦のアウトドアリビング